

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第54号
平成23年6月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



1号館リユミエール前で学生が参加



7号館前で教員も参加

松戸キャンパスから被災地へ思いを 学友会主催「東日本大震災募金活動」

聖徳大学学友会では、三月十一日に発生した東日本大震災による被災者の方へ何かしたいという学生の思いを義援金として被災地に届けるために、四月四日(月)から二十八日(木)の期間の昼休みに、大月七号館入口、一号館エントランス前において、学友会を中心として学生や教職員に対し

東北関東大震災復興支援 チャリティーコンサート開催

附属女子中高吹奏楽部・附属小吹奏楽クラブ



第2部では自分たちで考えた演出で楽しく踊りながら演奏

附属女子中学校・高等学校吹奏楽部、附属小学校吹奏楽クラブが聖徳大学川並順記念講堂で三月二十六日(土)、予定していた第二十一回定期演奏会を急遽、「東北関東大震災復興支援チャリティーコンサート」として開催しました。

当日会場ではご来場の皆さまに東北関東大震災への義援金をお願いいたしました。お寄せいただいた義援金三十六万六千四百三十円は被災地復興に役立てるため、三月二十八日(月)に日本赤十字社へ送金いたしました。ご協力いただきましたありがとうございます。

このたびの東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

INDEX

学園	1-2
大学院・大学・短大	1~4
幼児教育専門学校	5
附属女子中・高	1-5
取手聖徳女子中・高	1-5
小学校	1-6
幼稚園	4-6-7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/taiwase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

「先生方や学生より、多くの義援金を集めることができました。協力してくださった皆さまには本当に感謝しています。特に印象的だったことは、「呼びかけをしている時、あいさつをすると自然に相手があいさつを返して

て募金活動を行いました。また、入寮式・入学式後にも実施するなどして、積極的に活動を行った結果、四十五万二千二百七十八円もの義援金を集めることができました。

学友会会長の勝見愛湖さん(児童学科四年)のコメント

演奏会は二部構成

第一部は部員全員で黙祷を捧げてから演奏が始まりました。中高生は「もののけ姫」や夏のコンクールで演奏した「木花之佐久夜姫」などを、美しく質の高いアンサンブルで表現しました。小学生は「ロマネスク」「ペール・ギュント」を堂々と演奏しました。

第二部は雰囲気を変えてポップスステージを披露しました。なかでも小学生は、世界の平和を願って作られた「ハナミズキ」を中高生の伴奏にのせて精いっぱい歌いました。

コンサートでひろがる復興への祈り

さらに、四月二十四日(日)には、附属女子中学校・高等学校が「第十九回管弦楽部定期演奏会」(東日本大震災チャリティーコンサート)を開催し、ご

来場の皆さまにお寄せいただいた義援金二万五千四百六十九円は、被災地の中学校・高等学校の音楽教育支援に役立てるため、全日本高等学校オーケストラ連盟へ寄贈いたしました。

五月四日(水・祝)には、附属取手聖徳女子中学校・高等学校が「第二十二回吹奏楽部定期演奏会」(東日本大震災チャリティーコンサート)を開催し、ご来場の皆さまにお寄せいただいた義援金四十万九千九百九十二円(会場で販売したペナライトの売上を含む)は、茨城新聞社を通じて被災地自治体へお送りしました。

ご協力いただきましたありがとうございます。

速報1 「アスリート・セカンドキャリア入試」で 大学・短期大学部に2名入学

聖徳大学・聖徳大学短期大学部では、財団法人日本オリンピック委員会(JOC)の「JOC キャリアアカデミー事業」の趣旨に賛同し、優秀な競技歴を有するスポーツ選手のセカンドキャリア形成のために、大学教育を通じてサポート活動を展開しています。

本学が平成21年度より全国に先駆けて実施している「〈アスリート・セカンドキャリア支援〉特別奨学推薦入試」により、本年度、新たに2名の新入学生を迎えました。

宮崎翔子さん
実業団駅伝の豊田自動織機チームのキャプテンを務め、東京マラソン2011での8位入賞をラストランとして引退し、保育士資格取得のために短期大学部保育科に入学しました。

江藤喜代子さん
(旧姓:石橋)
PSA公認プロスノーボーダーで、ナショナルチーム代表として海外でも活躍し、引退を機に、人文学部心理学科3年次に編入学し、将来は、臨床心理士資格取得を目指しています。

速報2 聖徳大学 児童学部 児童学科 & 聖徳大学短期大学部 保育科 幼稚園教員・保育士の採用数 5年連続 全国1位

(2008~2012年版週刊朝日進学MOOK「大学ランキング」より)

平成23年3月卒業生実績

幼稚園教員就職者数	213名
保育士就職者数	242名
難関 公立保育士合格者数	70名
難関 公立幼稚園教員合格者数	6名

聖徳大学 児童学部 児童学科
公立小学校教員採用試験 平成23年度合格者 **96**名 (平成23年3月現在) (通学課程のみ、既卒者含む)

「東日本大震災義援金」へのご協力をお願い

3月11日に発生いたしました「東日本大震災」においては、東北地方をはじめとした広い地域で、多くの被災者が現在も困難な状況にあります。被災されたすべてのの方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を学園一同お祈りいたします。

学校法人東京聖徳学園では、創立以来、聖徳太子の「和」を建学の理念として掲げてまいりました。国内のたくさんの方々から苦境に立たされている今こそ、「和」の精神をもって最大限の支援を行うため、下記の通り「東日本大震災義援金」を募ることといたしました。

寄せられましたご厚志の義援金は松戸市を通して被災者へ届けさせていただきます。この義援金の趣旨にご賛同いただけるすべての皆さまの温かいご支援、ご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

■義援金受け入れ口座
口座名: 『聖徳学園東日本大震災義援金』
代表 学校法人東京聖徳学園 理事長 川並弘昭
千葉興業銀行 松戸支店 普通預金 口座番号 1150556

■募集期間 平成23年 8月31日まで

■お問合せ先 学校法人東京聖徳学園 総務課 TEL.047-365-1111(大代)
E-mail: soumug@seitoku.ac.jp

※ 義援金は寄付金控除の対象となります。口座振込票の控えと、学園ホームページ掲載の「義援金のお願い」の写しを確定申告時にご提出ください。



左から真野さん、鈴木さん、岩崎さん、清水さん



左から鈴木さん、真野さん

今年三月に卒業した学生が集う読売新聞社主催「第八十二回新人演奏会」が、五月三日(火・祝)・四日(水・祝)に東京文化会館で行われました。日本の国内外で活躍するプロを多く輩出してき

今年三月に卒業した学生が集う読売新聞社主催「第八十二回新人演奏会」が、五月三日(火・祝)・四日(水・祝)に東京文化会館で行われました。日本の国内外で活躍するプロを多く輩出してき

読売新聞社主催 「第八十二回新人演奏会」 聖徳を巣立った演奏家たちが競演

た、この伝統ある演奏会も八十一回を迎え、今回は日本全国から三十五校が参加しました。

本学からは、人文学部音楽文化学科(現・音楽学部)声楽コース卒業の清水琴絵さんと真野綾子さん、同学科器楽(ピアノ)コース卒業の岩崎麻美さん、音楽学部演奏学科器楽(ピアノ)コース四年次在学鈴木美里さんの四名が、三日の夜の部に出演しました。新人にとつて、二千人を収容できる東京文化会館大ホールはまさに大舞台ですが、四人共にそれぞれの持ち味を生かした演奏となりました。

清水さんは、イタリア近代の作曲家レオンカヴァッロのオペラ「道化師」よりネッダのアリアを歌い、この劇的な表現にとらわれがちな難曲をしっかりと自分のものとして、澄んだ音色で歌い上げました。岩崎さんのピアノも、清水さんの演奏を受けて、歌詞に登場する鳥の自由な羽ばたきを感じさせるおらかな演奏となりました。

真野さんは、レオンカヴァッロと同時期のイタリアの作曲家、プッチーニのオペラ「つばめ」からドレッタのアリアを歌いました。プッチーニ独特のシンプルで美しい旋律のこのアリアは、声の資質を問われる曲ですが、彼女の持ち味である艶やかな声ホールによく響いていました。鈴木さんのピアノも、印象的な最初の低音から丁寧に演奏され、二人の紡ぎ出すアンサンブルは大変心地よいものとなりました。

四月十六日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂にて聖徳大学オープンアカデミー(SOA)の平成二十三年度オープニングセレモニーを開催しました。プログラムは公開講演とチャリティーコンサートとの二本立ての構成で、告知開始からたくさんの方に申し込みをいただき、当日は約千二百人の方が来場しました。

プログラム後半の東日本大震災チャリティーコンサートでは、昨年に引き続き、本学音楽学部演奏学科・原佳大教授のコーディネート、同音



演奏学科・鳥井俊之准教授(ピアノ)、宮部小牧講師(ソプラノ)の華やかな共演

年間テーマ「希望」にちなみ、精神科医でかつ立教大学教授の香山リカ氏をお招きしました。

「生きづらい世の中を幸せに生きる」と題した講演の中で、気を許し合い、共に支え合って生きていく大切さをお話しいただきました。

「生きづらい世の中を幸せに生きる」と題した講演の中で、気を許し合い、共に支え合って生きていく大切さをお話しいただきました。

豊かな声楽とピアノの音色、同演奏学科・松居直美教授による迫力あるパイプオルガンの響きに会場も沸きました。

終了後は、演奏した音楽学部教員を中心に募金箱を抱え、義援金をお願いいたしました。当初の予定を変更し、チャリティーコンサートとさせていただきます。皆様もかかわらず、皆さまの厚意により五

十六万三千五十六円集まりました。この義援金は松戸市を通して被災者へお届けする予定です。

このイベントをきっかけに、たくさんの方々にご参加いただき、楽しさを思い起こしていただければ幸いです。来年度もぜひご期待ください。

松戸市委託事業 乳幼児のための遊び場
おやこDE広場に「ここにキッズ」がオープンしました！

乳幼児とその保護者が自由に遊び、情報交換や育児相談ができる「おやこDE広場」が五月十二日(木)にオープンしました。

正面玄関

●開館日時：
毎週 水・木・金曜日 午前10時～午後3時
(祝日・夏期休暇・年末年始休館)

●場所：千葉県松戸市松戸1155 聖徳大学1号館F棟
(松戸駅東口徒歩3分)

●問い合わせ：TEL.047-365-1111(内線3941)

研究所リレー連載 所長の伝言板 第七回
聖徳大学心理教育相談所

臨床心理士資格試験の合格者が増加しました

本年三月に東日本大震災が発生しました。災害現場では、心のケアのために臨床心理士が地道な活動を続けています。今、非常時における臨床心理士の役割が改めて注目されているようです。

聖徳大学心理教育相談所 所長 末永清 教授

育相談所は、お子さまからお年寄りまでのご相談を受け、臨床心理士を目指す大学院生の研修機関としての役割も担っています。臨床心理士になるには、財団法人日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格しなければならず、その試験は厳しいことで知られています。

過去最多の合格者を輩出した背景には、大学院生の頑張りはもちろんですが、昨年からスタートした受験対策が少しずつ功を奏し始めたのではないかと考えています。今年度もすでに受験対策の勉強会を二回開催

平成二十二年度は、聖徳大学大学院臨床心理学研究科の新卒者二十五名が受験し、十九名が合格(合格率七十六%)、過去最多の合格者を輩出しました。既卒者を加えると、四十名が受験し、二十六名が合格しました。既卒者を含めた合格率は六十五%となり、全国平均の六十一%を上回ることができました。

心理教育相談所を巣立った大学院生が、一人でも多く念願の資格を得て活躍できるよう、今後も努力していきつづけます。皆さまの支援を切にお願いいたします。

平成二十二年度は、聖徳大学大学院臨床心理学研究科の新卒者二十五名が受験し、十九名が合格(合格率七十六%)、過去最多の合格者を輩出しました。既卒者を加えると、四十名が受験し、二十六名が合格しました。既卒者を含めた合格率は六十五%となり、全国平均の六十一%を上回ることができました。

心理教育相談所を巣立った大学院生が、一人でも多く念願の資格を得て活躍できるよう、今後も努力していきつづけます。皆さまの支援を切にお願いいたします。

心理教育相談所

相談時間 月～金 10:00～17:00
土 10:00～15:00
TEL. 047-308-3887

当相談所は、地域の人々に開かれた心の相談所です。子どもから大人まで年齢にかかわらず、さまざまな心の相談に応じています。充実した設備と信頼できる優しいスタッフでお迎えします。

◎まずはお気軽にお問い合わせください。



研究室から

第3回 神谷明宏

映画狂の私

「サヨナラ、サヨナラ」と笑顔いっぱい日曜洋画劇場で手を振っていた淀川長治さんを覚えている人はどのくらいいるだろうか。小学生の頃、その不思議なおじさんを見て真似をしていた私が映画狂になるとは両親は思いもしなかったことだろう。本格的に映画にはまったのは結婚してからのことだ。当時、幼稚園教諭であった連れ合いと、児童館の職員であった私は、共通の趣味として子ども向けの映画を中心に年間約三十本の映画を観ては感想を語り合っていた。今では夫婦五十割サヨナラを利用し、年間約五十本となった。そんな私が最近の映画を観て思うことがある。

◆ディズニーアニメが有名な児童文学を数多く作品にしてきたのはよく知られている。でも過去の作品の多くが原作の持っている大切なモチーフをアメリカ的な価値観に置き換え、全く異なる作品に作り変えられていることに気付かされる。それはディズニー作品が本当のお話であるという誤解を次々に生み出しているように思う。

◆今もアニメに取り上げられていない「ピーターラビット」は、映画化を熱望したディズニーに対して著作権を守

り続けた人々の作者ビートルクス・ポターへの思いが得られる著作料をピーターの生まれ故郷である、英国湖水地方の自然保護運動である「ナショナルトラスト」に寄付することを遺言で残した。

◆このような女性の自立した生き方をモチーフとした作品が、最近数多く映画化されてきている。大西洋横断に成功した女性パイロットのアメリカ・イヤハートを描いた作品からロミオとジュリエットの観光地にあるジュリエットクラブの物語を描いた「ジュリエットからの手紙」と枚挙にいとまがない。先人の生き方を学ぶ意味でも、ぜひ学生には観てほしい。

◆原作があまりにも現実離れしていて映像化が困難であった作品も、SFX技術のおかげで観られるようになった。児童文学の中でも大人が読んでも歯ごたえのある作品(ゲド戦記)「指輪物語」などが映画で観られるのだ。途中であきらめた本のページをまためくってみようという気持ちにさせてくれる。お奨めの映画を知りたい方はいつでも研究室のドアをノックしてほしい。

(児童学部准教授 / 専門分野は児童文化)



自慢の映画パンフレットのコレクションと筆者

一倉宏氏 特別講演会 「いっぽのちから」 「ピーの仕事」開催

文科省・学生支援推進プログラムの一環として



一倉宏氏

三月九日(水)、文部科学省平成二十一年度「大学教育学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)に採択された、聖徳大学人文学部との取り組み「社会の中の「わたり」発見プロジェクト」

初めにこれまでの一倉氏の作品がDVDで紹介され、次にコピーライターに関連する職種について説明がありました。そして、仕事の上でどのような思いで「ことば」に向きあっているのかを最後に語りました。その内容を一部紹介します。

宣伝は、「よい製品ですよ」ということを伝えたいという目的で作られますが、そのままでは単なる自慢になってしまい、かえって伝わりません。脱毛器を使いながら女性がほほ笑むキャッチコピー「きれいなお姉さんは好きですか?」では、その製品の高さが直接的なことをばを用いなくても、世代、性別を超えて多くの人びとに共感されました。「ことば」にはそんな「ちから」があるのです。

社会は「ことば」で動いています。水道から水が漏れているのを見て、子どもは「水道が泣いている」と言う。それを母親は「水道が漏れている、と言うのよ」と直していきま

す。そうして意味を共有することで私たちはコミュニケーションを図っています。しかし母親や教師が直したとき、子どもが持っている「思い」が失われるのも事実です。その思いを何とかして伝えたい。それがコピーライターの仕事です。人でも、企業でも、もっと理解されたい、と思っている。意味を伝えるばかりでなく、思いを伝えるものとして「ことばのちから」を信じてもらいたい。それでは最後に思いを込めて言います。「お疲れ様」。

聖徳大学の街おこしグループ 「聖徳ピーシーズ」が まつど一店逸品を応援

第三回「まつど一店逸品」イベントが、五月十四日(土)から三十一日(火)まで松戸

今年も各店舗が、えりすぐりの期間限定商品を作って販売。松戸市民をはじめ、

地元のコアラテレビに出演イベントをPR
(左:白根里美さん[児童学部児童学科3年]、
右:奥村彩さん[人文学部社会福祉学科3年])

まつど逸品まつどフェア開催
http://www.nago

近隣のお客様に大変好評でした。

聖徳ピーシーズは企画段階から参加し、一店逸品参加店舗を紹介する冊子に、見て感じた学生の目線による店舗紹介欄を掲載し、話題を呼びました。

イベント開催前日のキックオフパーティーでは、受付業務を担当。来場されたマスコミやお客様に対する

若さあふれる接客で、パーティーを大いに盛り上げました。

会期中は「店舗巡りツアー」に参加されたお客様の案内役を担い、参加者と一揃に逸品商品を手にとって見たり、レストランでは試食をしてその感想を述べるなど、「女子学生の意見は今後の商品開発の参考になる」と店主からも喜ばれていました。

今回の「まつど一店逸品」イベントは、東日本大震災被災地の復興支援イベントとして位置付け、売上金の一部を寄付すると共に、地震のために一店逸品イベントが中止となった、福島県二本松市商店街の一部商品を松戸でも協力して販売し、被災地商店街復興のお手伝いをしました。

店舗紹介冊子「まつど逸品News」
(参加店舗で好評配布中!)

速報3 平成24年4月、聖徳大学5つ目の学部設置へ 「心理・福祉学部」を改組届出中

聖徳大学人文学部心理学科、社会福祉学科は、人文学部から独立した2学科6コースからなる「心理・福祉学部」になります。心理は個人だけでなく社会の問題に目を向け、福祉は人々の心の問題を見据え、それぞれの領域が相互に結びつくことによる新しく充実したカリキュラムで、社会・生活環境の変化に対応できる体制を目指します。

心理・福祉学部		社会福祉学科	
学部改組届出中	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理コース 家族心理コース 社会心理コース 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉コース 介護福祉コース 養護教諭コース 	<ul style="list-style-type: none"> コース設置予定 コース設置予定 コース設置予定

平成24年4月、音楽学部へ新コース設置

聖徳大学音楽学部では、多様なニーズに応えられるよう学科コース編成を見直し、2学科7コースに変更します。

音楽学部		音楽総合学科	
<ul style="list-style-type: none"> 演奏学科 作曲コース 音楽・オペラコース 器楽コース ミュージカルコース 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽教員養成コース 音楽療法コース 音楽指導コース 	<ul style="list-style-type: none"> コース設置 コース設置 コース設置 コース設置 	<ul style="list-style-type: none"> コース設置 コース設置 コース設置

「新入生歓迎フレンドシップツアー」で 学生生活の基礎づくり



富士箱根ランド体育館で発表会などの練習をする学生たち

平成二十三年度新入生歓迎フレンドシップツアー（FT）が、五月九日（月）・十日（火）の二日からスタートして、全六班編成で行われ

ました。この研修の目的は、箱根の自然の中で、一泊二日の集団行動をすることにより、新入生と在校生、教員と学生がより強く結びつき、学生生活や卒業後の社会生活を送るための基礎をつくることにあります。

一日目は、午後の活動がA「スコレアスレチック」、B「クラスアワー」、C「十

箱根園を見学しました。園内には、水族館やテレビジョンを体感しました。



はこね丸で芦ノ湖を周遊しました

さらに、夕食後のグループミーティングでは、新入生が上級生の部屋に招かれ、授業や学生生活のことを直接聞くことができ、現代の生活において不足しがちな

この二日間の交流は、人としてのコミュニケーションのあり方を見直し、建学の精神である「和」を理解するためのよい機会となっております。

日本ピアノ調律師協会主催 「第十二回新人演奏会」 聖徳大を代表して卒業生が出演

四月三十日（土）、社団法人日本ピアノ調律師協会主催「第十二回新人演奏会」が開催されました。聖徳大学を代表して、平成二十三年三月に人文学部音楽文化学科現・音楽学部（器楽（ピアノ）コース）を卒業した佐藤絵美子さんが出演しました。

この演奏会は、毎年三月に首都圏主要音楽大学を卒業した新進気鋭のピアニストが一堂に会するもので、クラシック音楽の聖地・東京文化会館で平成十二年より開催されています。



華麗な音色で会場を魅了した佐藤さん

佐藤絵美子さんのコメント
「この度は、著名な演奏会に参加させていただき大変光栄です。今回は、私が師事している先生の薦めもあり、在学中より演奏し続けてきたR・シューマンの『交響的練習曲Op.13』（一部省略）を披露しました。聖

徳の音楽学部のよさは、先生方からきめ細かな指導を少人数で拝受できることにあります。今後とも、ヤマハ音楽教室での指導や演奏会などを通じて『音楽の楽しさ、素晴らしさ』を伝えていくことができればと思います。」

新米広報 大杉が行く！



聖徳大学が「松戸市減CO2宣言事業所」としてAAAランクを獲得!!



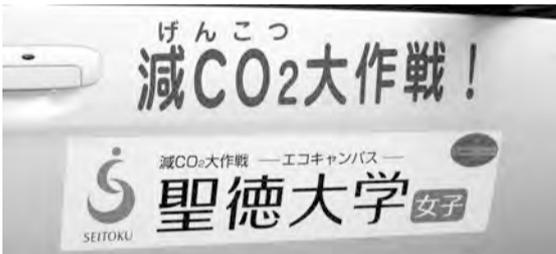
「松戸市減CO2宣言事業所制度」とは、地球温暖化防止、省エネ・省資源等を実践している事業所を、松戸市が広く市民等に紹介することで、その自主的な取り組みを支援する制度です。太陽光発電設備やトイレの洗浄水での中水

利用などを以前より行ってきた本学は、環境に配慮した取り組みを積極的に実施していることを宣言し、二月二十一日（月）に登録の上、AAAランクの認定を受けました。

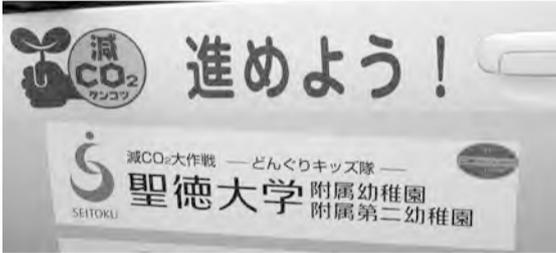
「聖徳のロゴを背にエコカーが走っています」
三月十五日（火）、松戸市の公用車として導入された三菱自動車の電気自動車「iMIEV」の車体への広告貼り付け作業に行ってきました。これも、「松戸市減CO2宣言事業



幼稚園のロゴを貼る筆者



運転席側



助手席側

所」としてのPR活動の一環です。
全三台の内の一台に、「聖徳大学（運転席側ドア）」「聖徳大学附属幼稚園・附属第二幼稚園（助手席側ドア）の広告を、曲がらないように緊張しながら貼りました。タマゴ型の

車体の真ん中に、ロゴがかわいらしく浮かびました。附属幼稚園・第二幼稚園の広告には、二年連続で松戸市減CO2どんぐり作戦に園児が参加していることから、「どんぐりキッズ隊」の表示もきちんと掲載。このどんぐり作戦は、どん

ぐりの実を拾い、ポットに植えて、大きく育てたら定植し、大きく育てて樹木を増やし、二酸化炭素（CO2）を吸収しようというものです。
なお、来年三月までの間、CO2排出ゼロのiMIEVは、このロゴを背に松戸市内を颯爽と走っています。ぜひ探してみてください。

銀座の街に響く聖徳の音楽

「音楽大学フェスティバル・コンサート2011」に参加

ゴールデンウィーク中の五月三日（火・祝）、リニールしたばかりの銀座ヤマハホールで「音楽大学フェスティバル・コンサート2011」が開催されました。今回、聖徳大学は初めて参加しました。

東京芸術大学をはじめ、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、桐朋学園大学、東京音楽大学など、関東圏の音楽大学が在学する優秀な学生たちを選出し、一時間ずつの持ち時間で催されるこのフェスティバル。本学からは、大学院音楽文化研究科博士前期課程一年・真野綾子さん、同研究科博士後期課程三年・紺野さくらさん、音楽学部演奏学科声楽コー

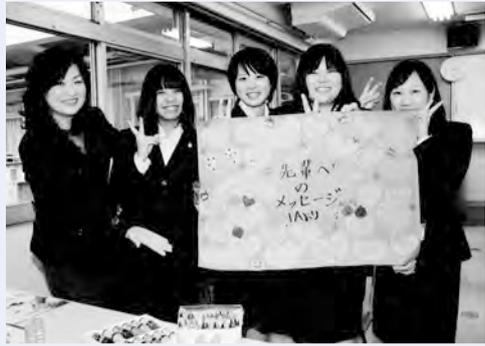


後列左から、松丸さん、松本さん、紺野さん
前列左から、横尾さん、藤川さん
（※真野さんと鈴木さんの写真は、2ページの読売新人演奏会の記事で紹介されています）

長の高橋大海教授をはじめ、大勢の教職員・学生が駆けつけ、温かい眼差しで見守る中、皆堂々とした演奏内容との確かな技術、豊かな音楽表現で、満場の聴衆を魅了していました。どの音大にも引けを取らない見事な演奏を披露しました。このコンサートをきっかけにして、学生たちは今後ますます活躍の場を広げていくことが期待されます。

幼児教育専門学校

「聖徳フレンドシップデー」で 専門学校生活のスタート



1年生が先輩たちに感謝の気持ちを込めてメッセージカードを作成

四月十六日(土)、幼児教育専門学校で新入生歓迎行事「聖徳フレンドシップデー」が行われました。新入生と在校生、教員が親睦を深めることを目的として、そして、学校が始まったばかりで不安のある一年生がこれからの学生生活をスムーズに送れるように、二年生

が主体となつて企画・実施しました。開会式の後、午前中は一部生、二部生混合の八グループに分かれて、グループ交流会を行いました。今年は音楽色を出して、どのグループもピアノ連弾や幼児の歌など、音楽アトラクションを入れるよう計画しました。初めは緊張していた一年生でしたが、ピアノの音に癒され、気持ちも徐々にほぐれ、自己紹介やゲームで次第に盛り上がり、楽しいひと時となりました。二年生は十日間という限られた期間の中、一年生のために何かしてあげたいという思いで当日まで準備に励みました。



先輩の2年生と交流をする新入生たち

三年生による食事のマナーの指導を行った昼食の後、午後からは一部生、二部生に分かれてグループミーティング「学生生活Q&A」が行われ、学び方のコツ、生活の仕方の工夫など、一年生の疑問や質問に上級生が答えました。教員からも貴重なアドバイ스가たくさん伝えられました。一人ひとりがセイトクの学生としての自覚を持ち、学生生活を主体的に送り、「人を思いやる心」を持った保育者になるための一歩を踏み出しました。

附属女子中学校・高等学校

平成二十三年度 入学式挙行 —それぞれの決意を胸に—



起立する中学1年生

四月九日(土)、附属女子中学校・高等学校第二十九回入学式が、厳粛な雰囲気の中、挙行されました。三月の大きな震災の後、寒さが続き、満開になるのが遅れていた桜が花盛りの中、期待に胸を膨らませ正門をくぐる新入生の姿が見られました。入学式自体が行えるのか案じられましたが、心配された余震もなく無事行われました。当日は、川並弘純副学園長はじめ多くのご来賓から、これから聖徳の生徒になることについての心構え

が、将来の進路についての指針を含めた、温かいお祝いの言葉がありました。生徒たちは、今年から一新されたグレーのセーラー服に身を包み、一人ひとりの呼名に対して、緊張しながらも明るく、大きな声で返事をしていました。新しい歴史のページを開いてゆくべく、決意を胸に秘めた頼もしい表情をしていました。高校生は、六割方が内部進学のためか、終始落ち着いた態度で式に臨むことができていました。また、中学生は、小学校を卒業してまもない生徒とすれば、大変きちんとした所作で式に参加していました。これからの大変期待の持てる新入生たちでした。



生徒宣誓が行われました

新入生学習 —オリエンテーション— 学習活動のスタート

四月十四日(木)から二泊三日で、中学一年生がホテル日航成田の会議場を教室として「新入生学習オリエンテーション」を実施しました。入学して五日目の朝、一年生は大きな鞆を持って登校しました。朝の登校時間には一人であられるようになったばかりで、時間帯が違うだけで、生徒たちは前日から不安を抱えていました。

しかし、当日はバスで向かったホテルの豪華さに驚き、期待をつのらせていました。学習方法を学ぶため、国語・数学・英語の三教科に取り組みました。夜のホームルームでは学園歌を練習し、残り一時間は学習に充てました。帰ってすぐの実力テストに備えるためです。



真剣に授業に臨む生徒たち

入学して初めての行事が宿泊学習ということもあり、不安もありましたが、生徒たちは学習方法を理解したとともに新しい友達が増え、実りある学校生活のスタートとなりました。

桜の花がようやくくほころび始めた四月七日(木)、取手聖徳中高の新入生百三十五名は、二泊三日の「SEC (SEITOKU Freshmen's Camp)」に参加しました。この合宿は、前日の始業式で長野雅弘校長から示された「①学ぶ力を身につける」「②協調する力を身につける」「③継続する力を身につける」という三つの目標を具現する方法を学ぶとともに、クラスメイトや学年の教員との親睦を図り、これからの学校生活

の基礎を作り上げるための合宿です。初日は開校式、そして、校長の講話、続いて英語・数学・国語の授業の担当者から授業の心構えやノートの取り方、予習・復習の方法など、懇切丁寧な指導がありました。二日目は三教科の講義のほか、学年の教員の講話や学年・学級の活動を行いました。時間が経つにつれて生徒の部屋からは楽しい笑い声が聞こえるようになり、明るい笑顔であいさつができるようになりました。学校で解散をした時の生徒たちの明るい笑顔と輝く瞳は、この合宿の成果が明日からの学校生活に大いに発揮されることを確信させるものでした。生徒たちが解散した後の玄関前広場では、辛夷(コブシ)の花から桜の花へと、着実に季節のバトンが手渡されていました。



屋外でも生徒と教員で交流し、学ぶ意欲を高め合いました

SFCを終えて (SEITOKU Freshmen's Camp)

取手聖徳女子中学校・高等学校

保護者の授業見学のご案内 —すべての授業を見学できます—

前期(1学期)授業の開始に伴い、本校ではすべての授業や行事を開放し、授業見学を実施いたします。保護者の皆さまにご家庭での学業へのご援助をいただくため実施しておりますので、ぜひご参加ください。

〈前期(1学期)授業見学の日程〉

実施期間：平成23年4月25日(月)～平成23年7月22日(金)
見学時間：1時限目～7時限目全授業

※土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講などを実施いたします。不定期になりますので、お問い合わせの上、お申込みください。
※「授業見学申し込み書」でお申込みください。
※ご質問・お問い合わせは、本校学生サポートセンターまでお気軽にご連絡ください。
Tel:03-5476-8811 Fax:03-3476-8820
E-mail: senmon@seitoku.ac.jp

「保育者になる夢へ向け 保育実習」がスタート

五月三十日(月)より、保育科第一部二年生の保育実習が始まりました。この実習では、家庭や地域における保育の現状を学び、さまざまな状況に応じた判断力、理解力を身につけることを目標としています。また、部分実習や責任実習など、一年生の保育実習では経験できなかったことをこの実習で経験することにより、応用力を身につける大切な学びの機会です。

経済情勢の悪化による共働き家族や、ひとり親の増加の問題など、各家庭からの保育に対するニーズが高まる中、専門学生たちは、保育者としての素質を十分に生かし、さらに力をつけるべく努力しています。

取手聖徳女子中高同窓会
「聖朋会」
活動のお知らせ

- 6月18日(土) 聖朋会総会・懇親会
- 9月23日(金・祝) 聖徳祭(模擬店・展示)
「手作りケーキ」と「玉こんにゃく」の販売は毎年大好評です!!
- 10月16日(日) サークル活動「スポーツレク」「パーベキュー」

平成24年
●3月 入会式

附属小学校

授業力向上を目指して

「校内研究」を実施

附属小学校では、授業の力量を高めるといふ教師の使命を果たし、さらに、建学の精神「和」を基にした教育目標を実現するため、「校内研究」を実施しています。全教員はそれぞれ国語科と算数科に分かれ、研修部の指導の下、教科研究を進めています。前年度の公開研究会の成果と課題から、本年度の校内研究は「思いやる心と確かな思考力・表現力を育てる」国語科・算数科を通して「をテーマとしました。

校内研究の一つである「授業研究」では、各教員が一年一回、研究主題に基づいた授業実践を行います。研究授業を実施することで教員の授業力アップを図り、その授業によって児童の思考力・表現力がより深まることを大きな目的としています。

また、各学年一名の教員が代表となって授業を行う「代表研究」では、研究協議会を授業後に行います。この協議会には聖徳大学だけでなく、外部の専門家も講師として迎え、指導を受けています。四月二十五日(月)には、算数教育で著名な筑波大学の坪田耕三教授をお招きしました。毎回、着任歴や経験年数に関係なく、多



研究授業で新しい学びに触れる児童たち

進路の実現を目指して

「国語科・算数科コース別授業」を実施

授業で習得した基礎・基本の知識・技能を発展させ、さらなる学力向上を目指すために平成二十年度から始まった「算数科コース別授業」。附属小学校では、本年度から新たに「国語科コース別授業」も実施しています。国語科を加えた理由として、「すべての学習の土台としての言語能力を養いたい」という思いがあります。

対象は五・六学年の児童で、コースはAからDの四つに分かれており、希望によって自分に合ったコース選択が可能です。進学塾との連携により、塾講師が教壇に立ち、指導にあたるコ



算数科コース別授業を受ける児童たち

スもありません。簡単過ぎず、難し過ぎない、その児童に合った問題演習を繰り返し積み重ねていくことで、一人ひとりが伸び伸びと自信を持って学習ができます。「苦手だった算数が基礎から分かってやる気が出た」「難関校受験に向けて弱点を補強でき、成績が伸びた」と楽しみに話す児童たちも多く、成績も見られます。

学校教育の中でのコース別授業ということで、本校では表面的な受験テクニックではなく、どのコースにおいても「考えること」に重点を置き、「なぜそうなるのか」をしっかりと理解させることが大切だと考えています。各担当の教員は綿密な指導計画を練り上げ、指導に取り組んでいます。

附属小同窓会 秋和会

社会で活躍しています、聖徳の子!

附属小同窓会「秋和会」は、第一回卒業生である嶋崎亨大会長を中心として今年度も活動を行ってまいります。今年二月には、第一回卒業生がその保護者と一緒に参加するとい

同窓会の企画を立てました。二十四歳を過ぎた今、小学校時代の懐かしい思い出に浸りながら、当時の担任の三須吉隆先生に感謝の気持ちを伝えようと楽しみにしております。東日本大震災の影響で自粛することになりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今回は実施できませんでしたが、こうした機会が各学年で行われ、縦のつながりを持てるようにしていきたいと思

「歯みがきの仕方」の授業

これまで同窓会では進路指導の一つとして、附属小の児童たちに卒業生による授業を実施してきています。今年度は「秋和会」は、この授業を始めて今年で七年目。今までに、歯科医師である嶋崎会長による「歯みがきの仕方」と、同じく第一回卒業生で美容室経営者の山崎洋平さんによる「洗髪の仕方」の授業を実施しました。

さらに、第七回卒業生の竹内佐織さんは、自身の卒業制作の一環としてデザインした洋服を児童たちに着せてくださいました。児童たちは、先輩からさまざまな職業があることを教えてもらい、志を強く持ち、頑張り続けることの大切さを知ると同時に、大きな夢をもらい、瞳を輝かせていました。今後も卒業生による授業を実施したいと思います。

「歯みがきの仕方」の授業

附属小では二十六年目の今年も、ずっと変わらぬ聖徳の子の財産として引き継がれている、そして、卒業生の心に残る行事が多く行われています。機会がありましたら、ぜひ皆さまお誘い合わせの上、母校をご訪問ください。皆さまをよくご存知の先生方が教員を続けているのも私立ならではです。ちなみに、聖徳祭は十月十六日(日)です。

今年度も「秋和会」は、各年度の同窓会活動を促進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

幼稚園短信

三田幼稚園

環境に優しい見回り隊「がんばろう! にっぽん!!」

三月十一日に起きた東日本大震災で亡くなられた皆さまのご冥福をお祈りいたします。被災された皆さまの健康が心配されていますが、園児たちの耳にも当然なことながらいろいろな情報が届いています。

東京でも余震が起きていますが、その都度、「水は出るの?」「電気はつくの?」「という声が園児たちの中から聞こえてきます。大人は「計画停電」という慣れない言葉に耳を傾け、情報を集める一方で、園児からは、



年長組が作った節水ポスターを年中組にプレゼント

「電気は大切。」「水は出るの?」「コンベニにお水が売ってなかったよ。」などの会話が聞かれます。

「幼稚園でもお部屋の電気を消せば?」という園児

八王子中央幼稚園 一年一度の「父親参観」

毎年五月に父親参観が行われます(今年度は二十二日(日)に実施しました)。普段は、お母様の来園率が高いですが、この日はお父様、お父様・お爺様の男性の目で保育を見ていただく一年一度の特別な日です。

当日は、本園のホールで約一時間の講演があり、内容は年により異なりますが、聖徳大学や聖徳大が学幼児教育専門学校より講師の先生をお招きし、父親教育を実施しています。お父様からは、「勉強になりました。」「子育ての大切さを学びました。」「楽しい時間でした。」「好評をいただいております。」

講演後、園児たちが待つ各保育室へ移動します。そして、クラスごとの保育が始まります。親子で十分にスキンシップをとり、楽しんで過ごせるよう計画しています。お父様と遊んでいる園児たちの笑顔はとっても輝いていて、また、園児たちを見守るお父様の目はとても優しく、保育をしている教員たちもとても嬉しく、笑顔が溢れています。

そして、この日のために園児たちが一生懸命に作った父の日のプレゼントを渡し、さらに、歌のプレゼントとして「すてきなパパ」の歌をお父様と向かい合い、両手をつないで歌います。はりきつ



お父様が来てくれて元気百倍の園児たち

附属幼稚園

今日からみんな
お友達! 「対面式」

桜が満開の四月十一日(月)に、今年度の新入園児と進級園児が顔を合わせる対面式が行われました。この日に先立ち、入園式・進級式が四月六日(水)に行われ、その後二日間は新入園児だけが登園していました。

対面式の日には進級児も登園したので、園内はにぎやかさが戻り、活気にあふれていました。進級児は「年中児、年長児になった自覚を持ち、新しく幼稚園に入園した友達と楽しく遊べるようにする」、新入園児は「幼稚園にはお兄さん、お姉さんがいることを知り、園生活に期待を持てるようにする」ことを各々ねらいとしています。

この日、全園児がホール

附属第二幼稚園

はじめての給食

入園、進級してようやく新しい環境に慣れ始めた四月二十五日(月)、今年度の



給食を前に大さわぎの園児たち

幼稚園給食を通して、友達と一緒に楽しい雰囲気の中で偏食をしないでも何でも食べられるようにする、そして、姿勢よく座り、正しい箸使いで「ばっかり食べ」ではなく「三角食べ」をするなど、食事マナーを身につけることを目指しています。給食の初日はカレイライス。年中児・年長児は、やはり今までの経験から落ち着いており、久しぶりの給食に対する期待感と喜びが伝わってきました。一方、

初めて給食を食べる年少児は、席に座らず立ち歩くと和四十六年の創立以来実施しており、献立は家庭的なものを中心に和風・洋風・中華風と変化をつけて提供しています。幼稚園給食を通して、友達と一緒に楽しい雰囲気の中で偏食をしないでも何でも食べられるようにする、そして、姿勢よく座り、正しい箸使いで「ばっかり食べ」ではなく「三角食べ」をするなど、食事マナーを身につけることを目指しています。入園までの一人ひとりの食生活の経験をふまえ、今後、一つ一つ家庭と連携を図り、協力を得ながら食事の指導をしていく必要性を痛感した「はじめての給食」でした。

多摩中央幼稚園

楽しい参観日
「保育参観・試食会」

園児たちの幼稚園の様子や教育内容を知ってもらうために、年に三回の保育参観を行っています(一学期は五月十七日(火)、十九日(木)に保育参観・試食会を実施しました)。園児たちは保育参観をとても楽しみにしていて、特に年少組は「お母さん来る日?」と毎日確認し、心待ちにしています。

参観が始まると、全園児でリズム遊びをしたり、クラスごとに保護者の方とタオルや新聞紙を使った触れ合い遊びをしたり、クラス全員でゲームをしたりと楽しい時間を過ごします。たくさん遊んだ後は、待ちに待った給食です。大好きな



園児同士の交流がここから始まります

すことができず、明日から、みんなで仲良く楽しく遊びましょう。」との年長児の挨拶で会は終了しました。今年度も、一人ひとりの園児がいろいろな友達とかわり、楽しい園生活を送れるよう、日々配慮していきます。

附属第三幼稚園

入園式から
元気にスタート

桜の花もほころび始めた四月八日(金)、第三十六回



園長先生のお話に手をあげて返事する園児たち

入園式が行われました。園児たちは大きめの制服に身を包み、保護者の方に手を引かれ、少し緊張した顔で幼稚園に入ってきました。受付で担任の先生に名札をつけてもらおうと、さらに緊張して固まってしまう園児や、笑顔が浮かべないさつをする園児などさまざまなお様子が目撃されました。また、その様子をカメラやビデオに収めようと、一生懸命撮影しているお父様もたくさんいました。幼稚園ホールで式が始まって

も、親元から離れられずに泣いている園児や、椅子に座ってられない園児も見られました。園長先生がうさぎのペープサートを持ってお話を始めると、いつの間にか泣き声も聞こえなくなり、皆、ペープサートに見入っていました。園長先生から「明日から、泣かないで幼稚園に来ましょうね。」と言われると、大きな声で「はい!」と答えていました。

幼稚園の生活に慣れるまでは、少し時間がかかるかもしれませんが、本園のねらいである「いつもにこにこ元気な子ども」を目指し、一人ひとりの園児と向き合っ



親の手を引いて元気いっぱいの園児たち

参観が始まると、年少組の園児は、甘えて母親や父親から離れない姿、逆に妙にはしゃいでかけまわっている姿が見られました。帰り仕度の際には、我が子の着替えや、所持品の仕末に手を出している母親も見られました。今後時間をかけ、お子様がよりよく成長できるように話し合っていきたいと思っています。

附属浦安幼稚園

幼児教育の理解を
深める「保育参観」

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖を震源とする地震で、浦安市は液状化により、地盤がゆるんで道路が沈んだり、建物が傾き、マンホールが浮き上がったり、水道ガスが止まり、ライフラインが切断され、附属浦安幼稚園の園児たちの中には、入園後も通園できない園児がいました。

そのような中、幼稚園では、入園式・進級式が予定通り行われ、一学期初めての保育参観も園庭の薄桃色の大島桜が満開となった四月十八日(月)から二十日(水)の三日間、学年ごとに実施しました。

保育参観は、園児たちの活動の様子を保護者の方にご覧いただき、園の幼児教育について理解を深めることができるよう学期ごとに実施しているものです。この時期の参観は、入園して一週間余りの新入園児や進級直後のせいいか、どの保護者の方々も、お子様の様子が大変気になるよう

で、登園時からお子様を気遣う母親が見られました。参観が始まると、年少組の園児は、甘えて母親や父親から離れない姿、逆に妙にはしゃいでかけまわっている姿が見られました。帰り仕度の際には、我が子の着替えや、所持品の仕末に手を出している母親も見られました。今後時間をかけ、お子様がよりよく成長できるように話し合っていきたいと思っています。

の着替えや、所持品の仕末に手を出している母親も見られました。今後時間をかけ、お子様がよりよく成長できるように話し合っていきたいと思っています。進級児は、進級した喜びを全身で表し、いろいろな活動に取り組みました。参観後は、クラスごとに懇談会が開かれましたが、気恥ずかしがって自己紹介をできない園児や、ふざけてしまふ園児もいました。保護者の方々は、どの学年も和気あいあいの雰囲気の中、笑顔で交流していました。降園時には、各クラスで自然災害募金をお願いしたところ、被災を受けた方もいらつしやるにもかかわらず協力していただきました。お預かりした義援金は、全日本私立幼稚園連合会を通して被災地の幼稚園等に届くよう寄付いたします。これからも保護者の方の我が子に対する思いを受け止めながら、今後の行事や活動を通して幼稚園の教育をご理解いただけるよう努めたいと思います。

子どもの未来を応援します

第44回SEITOKU夏期保育大学 7月23日(土)開催

「保育の聖徳®」の夏の伝統行事、「SEITOKU夏期保育大学」は、おかげさまで、多くの方々のご支援、ご参加により、今年で44回目を迎えることとなりました。今年、「保育の未来」を総合テーマに掲げ、将来を担う子どもたちが、心豊かに楽しく健やかに育っていくことを願い、保育のこれからを改めて見つめていきます。

全体会では、東京大学大学院教授、日本保育学会会長の秋田喜代美先生をお招きし、ご講演をいただきます。午後の分科会では、保育や幼児教育などさまざまな場面で役に立つ、11テーマの分科会をご用意いたしました。講師との学びを通し、また、同じ現場で働く先生方、子育てに関心のある方々との交流を通し、楽しく充実したひとときをお過ごしいただければと思います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

●日時:平成23年7月23日(土) 10時~16時 ●会場:聖徳大学松戸キャンパス (松戸駅東口徒歩5分)

●総合テーマ:「保育の未来」

●全体会:講演/「保育の質を高めるために—子どもの経験からふりかえる保育のプロセス」
講師/秋田喜代美氏 (東京大学大学院教育学研究科教授)

●分科会:
① 保育の未来第一歩—保幼小の連携—
② 特別な保育ニーズのある幼児の理解と支援
③ 保育の中の言葉と人間関係—教師の役割と援助の具体性—
④ 乳児の癒しの環境を考える ~0・1歳を中心に~
⑤ 保育者とのコミュニケーション力を磨こう!
⑥ 子どもの「わくわく感・どきどき感」の育て方
⑦ 保育者と保護者による子どもへのチーム援助
⑧ 光で遊ぼう
⑨ 再発見!ペープサート
⑩ 感じる心が育つ「音楽の魔法!」
⑪ 楽しい身体表現運動

●受講料:一般:5,000円 卒業生:4,000円 在学生:2,500円

【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)



秋田喜代美先生

学校説明会関係行事のご案内

●聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531

オープンキャンパス ▶6月19日[日] ▶7月17日[日] ▶8月7日[日] ▶8月20日[土] 聖徳大学
★学食無料体験有り 10:30~16:00 10:30~17:00 10:30~17:00 10:30~17:00 松戸キャンパス

出張オープンキャンパス ※全て12:30~15:00
▶7月2日[土] 山形:山交ビル(山形市) ▶7月24日[日] 新潟:ホテルオークラ新潟(新潟市)
▶7月9日[土] 秋田:秋田アトリオン(秋田市) ▶7月31日[日] 静岡:ホテルアソシア静岡(静岡市)
▶7月10日[日] 岩手:マリオス(盛岡市) ▶8月1日[月] 福島:ホテルプリシード郡山(郡山市)
▶8月2日[火] 宮城:アエル(仙台市)

●通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ: 047-365-1200

入学説明会
▶6月11日[土] 横浜:TKP横浜駅西口ビジネスセンター ▶7月9日[土] 秋田:秋田アトリオン
▶6月12日[日] さいたま:With Youさいたま ▶7月10日[日] 盛岡:マリオス
▶6月25日[土] 千葉:幕張テクノガーデン ▶7月24日[日] 新潟:ホテルオークラ新潟
▶6月26日[日] 東京:TKP新橋ビジネスセンター ▶7月31日[日] 静岡:ホテルアソシア静岡
▶7月2日[土] 山形:山交ビル ▶8月1日[月] 郡山:ホテルプリシード郡山
▶8月2日[火] 仙台:アエル

●聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811

夏のオープンキャンパス ▶6月18日[土] ▶7月2日[土] ▶7月25日[月] ▶6月7日[火] 町田市文化交流センターホール 15:00~18:00
13:00~15:00 10:00~12:00 13:00~15:00 ▶6月9日[木] 京王プラザホテル八王子 15:30~18:00
夜のオープンキャンパス ▶6月22日[水] 17:30~19:30 **進学相談会** ▶6月22日[水] 立川グランドホテル 13:00~18:00

●聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 047-392-8111

オープンスクール ▶7月18日[月・祝] ▶8月20日[土] 10:00~ 10:00~

学校説明会 ※全て10:00~ 中学校 ▶6月25日[土] 高等学校 普通科 ▶7月2日[土] 音楽科 ▶6月11日[土]

●聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 0297-83-8111

オープンスクール 中学校 ▶7月24日[日] ▶8月7日[日] 高等学校 ▶8月8日[月] ▶8月21日[日] 10:00~ 10:00~ 10:00~ 10:00~

中学校・音楽オープンスクール ※全て10:00~ ▶7月31日[日] ▶8月20日[土] 学校見学会 ※全て10:00~ ▶6月11日[土] ▶6月25日[土]
高等学校

●聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111

学校説明会・授業見学 ▶6月25日[土] 9:30~12:00 **学校見学会(自由見学)** ▶6月22日[水] 9:30~12:00
★会食体験有り

※詳細につきましては、お問い合わせください。

平成23年度 後援会・保護者会 開催日程

大学・短期大学部	開催日時	開催場所
北海道支部総会・保護者会	6月5日(日) 13:00	札幌グランドホテル(札幌市)
東北(北)支部総会・保護者会	9月4日(日) 10:30	盛岡・ホテルニューカリナ(盛岡市)
新潟地区支部総会・保護者会	9月11日(日) 10:30	ホテルニューオータニ長岡(長岡市)
東北(南)支部総会・保護者会	9月18日(日) 10:30	郡山・ビューホテルアネックス(郡山市)
甲信地区支部総会・保護者会	10月16日(日) 10:30	甲府・談露館(甲府市)
静岡県支部総会・保護者会	10月23日(日) 10:30	静岡・静岡第一ホテル(静岡市)
千葉県支部総会・保護者会	10月30日(日) 10:30	聖徳大学(松戸市)
九州・沖縄地区支部総会・保護者会	11月13日(日) 10:30	ホテル日航那覇グランドキャッスル(那覇市)
北関東支部総会・保護者会	11月20日(日) 10:30	大宮・JA共済埼玉ビル(さいたま市)
茨城県支部総会・保護者会	11月27日(日) 10:30	土浦・ホテルCANKOH(土浦市)
東京地区支部総会・保護者会	12月4日(日) 10:30	聖徳大学(松戸市)

楽習フェスタ2011

~第13回聖徳大学生涯学習フォーラム~

■日時: 6月11日(土) 12:45~16:30

6月12日(日) 10:00~16:00

■参加費: 無料

●「ネットワーク~いま、わたしたちにできること~」がテーマです。1日目は、基調講演・分科会、2日目は、被災地の復興支援を目的としたチャリティー物産展や生涯学習講座体験、子どもの遊び場など、もりだくさん。大人から子どもまで、私たちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。

■場所: 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(10号館) 【松戸駅東口徒歩1分】

【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習研究所 Tel.047-365-5691(直通)



昨年の様子

聖徳大学出版会からのお知らせ

新刊を発行しました!

ハンディなサイズでありながら、特別支援に関する医学・心理学面の専門的な知識と、保育・教育指導の実務に携わるのに必要な内容を網羅し、本書を通読するだけで、保育と教育の実務に携わるのに必要な最低限の知識を得ることが出来ます。また、図や表、グラフなどを活用して、分かりやすい記述を工夫しました。表紙のデザインやイラストには、本学の卒業生や学生を登用して、より親しみやすい装丁にしました。

『一人ひとりのニーズに応える保育と教育—みんなで進める特別支援—』
特別支援教育研究室編(A5判・212頁・1600円(税込み))
ご注文・お問い合わせは、聖徳大学購買「ジャンティ三越」(クリスタルホール2階)、または、聖徳大学出版会(TEL:047-365-1111)までお申し付けください。



学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。今後、ますます充実させていきたいと思っておりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

〈郵送〉〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
〈インターネット〉<https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub>

インターネットを利用して皆さまの聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。

〈アンケートURL〉 <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/>

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第54号
発行人/川並弘昭 編集/総務課



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

11.6.1 re (19.5)

特別展覧会 ピカソ生誕130周年記念「スペイン三大巨匠 ピカソ・ミロ・ダリ」展

本年はパブロ・ピカソの生誕130周年にあたります。そこで、本学ではこれまで収集してきたコレクションの中から、ピカソとほぼ同時代に活躍したジョアン・ミロとサルバドール・ダリの作品をあわせて、特別展覧会「ピカソ生誕130周年記念「スペイン三大巨匠 ピカソ・ミロ・ダリ」展」を好評にて開催しています。

【展示作品数】ピカソ:6点、ミロ:5点、ダリ:5点、合計16点を展示

会期/開催中~平成23年12月26日(月)まで

9:00~17:00 (休館は、毎日曜日・祝日と学事日程による休業日)

入場無料

会場/聖徳大学8号館1階・ギャラリー

お問い合わせ/聖徳大学川並記念図書館
TEL.047(365)1111[大代]



ピカソ「夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス」(1934年)

大学院・大学・短大同窓会「香和会」第44回 総会・懇親会のお知らせ

香和会の総会並びに懇親会を下記の通り開催いたします。先生や同窓生と語り合う楽しい一日、ぜひご参加ください。

- 日時: 7月17日(日) 10:30~11:30 新1号館見学スペシャルツアー
- 場所: 聖徳大学 新1号館 11:30~ 総会受付開始
- 懇親会費: 1,000円 12:00~15:00 総会・懇親会および東日本大震災ご同伴の中高生500円(小学生以下無料) 支援チャリティーミニコンサート

毎年、お子様連れの参加も多く大変好評です。ミニコンサートや抽選会もあります。

【お申込み・お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

一般 9,400円~ のところ
学生・教職員 5,400円~
卒業生・ご家族・同伴者 8,300円~
(1泊2食付)

ご予約・お問い合わせは現地フロント係が承ります。お気軽にお電話ください!

TEL.0267-52-2111

施設の詳細等は本学園HPでご覧いただけます。 <http://www.seitoku.jp/gakuen/house/>

周辺の観光スポットのご案内

東麓の塔山 (ひがしかごのとやま)

長野県佐久市に学園のセミナーハウス「かすが荘」があります。そこから、小諸方面に車で90分のところに、東麓の塔山(標高2228m)があります。岩がゴロゴロしているところもありますが、ハイキングの延長で登ることが出来ます。山頂からは浅間山、遠くは富士山と雄大な山岳風景が迎えてくれます。日ごろの運動不足の解消、ストレス解消にいかがですか。



東麓の塔山の山頂から富士山を望む